

浸透性撥水防水塗料（環境対応品）

水性ニューコンコート

水で5倍に希釈してご使用下さい



特 性

- 水性ニューコンコートは、環境にやさしく、安全性の高いエマルジョンタイプの外壁処理材料です。
- 撥水性防水効果を与え、躯体の劣化、汚染、白華を抑制します。

性 状

外 観	乳白色液体
成 分	シラン系エマルジョン
比 重	0.95±0.05 (20℃)
p H	6~9

用 途

- 打放しコンクリート、モルタル、プラスター、スレート板、PC板、リシン、スタッコ、化粧ブロックなど吸水を防止し、老化、風化、凍害、塩害、汚れなどから護ります。
- 打放しコンクリート、モルタル、タイル目地、レンガタイルなどの白華現象を防ぎます。
- ALC板、コンクリートブロック、セメント系人造石（ブリック調）などの吸水の大きいものも同様に老化、風化、凍害、汚れなどから護ります。

標 準 塗布量

用 途	希釈割合	希釈液塗布量	希釈液塗布面積	
			4kg 缶	500g ポリ
内外壁面	原液 1 : 水 4	0.15~0.20kg/m ²	約 100 m ²	約 12.5 m ²
床 面	原液 1 : 水 4	0.25~0.30kg/m ²	約 67 m ²	約 8.3 m ²

施工方法

事前調査

1. 処理面の調査

新築か補修かによって、また基材の種類によって施工の工程、数量、施工時（養生）等に影響があるので十分に確認をする。

2. 処理面に旧塗膜がある場合特に試し塗りを必ず実施しておく。

前処理

1. 処理面は汚れ、油分などを除去し清浄で且つ完全に乾燥した状態にする。

処理面が汚れている時、旧塗膜が残っている時はケレン、または高圧洗浄機にて除去し水洗後の乾燥を充分に行う。

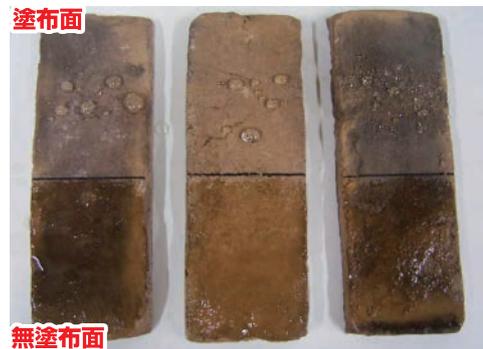
2. 処理面のクラック、ジャンカ等のある場合は前もって補修する（モルタル、シーリング材等）。

但し壁面で 0.3mm 幅以下のクラック、ピンホールの場合には、そのまま補修なしで水性ニューコンコートを塗布しても充分な撥水効果が得られます。

3. 処理面への水性ニューコンコートの影響および効果確認のため試し塗りを実行する。

水性ニューコンコートを塗布した時たまに風合変色等ができることもあります。これを防ぐための事前チェックまたは塗布量決定のために試し塗りは必ず実行してください。

4. 周辺および非塗布面に対しては必ず養生する。



施工

1. 水性ニューコンコートは 5 倍に希釈して使用する。

2. 塗布方法はスプレー法、刷毛、ローラーおよび浸漬法などいずれの方法でも良く、作業環境を考慮の上最適な方法で施工する。

3. 処理面が乾燥すると未処理面との区別がつきにくくなりますので、未処理箇所が残るのを避けるため一つのブロック毎に中断することなく連続して処理する。

4. 水性ニューコンコートを処理面にむらなく均一に塗布し基材内部に充分吸収させるためには一度に厚塗りせず 2~3 回に塗り重ね、規定の塗布量を確実に塗布する。 水性ニューコンコートは浸透型ですので追いかけて塗りが可能です。

5. 水性ニューコンコート塗布完了面は 20℃で 12 時間以上乾燥養生する。

使用上の注意事項

- 使用する前に缶を振るなどして良く混ぜてください。
- 取扱いはできるだけ皮膚に触れないようにし、マスク、保護手袋、保護眼鏡等を使用してください。
- 気温 8℃以下、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。
- 塗布対象面以外の箇所は、養生を施し、付着させないようにしてください。
- ガラス面、金属面、プラスチック面等に付着したときは、速やかに除去してください。



セメント混和・助材総合メーカー

株式会社 **マノール**

<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原 3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川 2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店